



2022年10月31日

各 位

上場会社名 ジーエルサイエンス株式会社
 代表者 取締役社長 長見 善博
 (コード番号 7705)
 問合せ先責任者 取締役管理本部長 芹澤 修
 (TEL 03-5323-6633)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年5月10日に公表した業績予想及び配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2023年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2022年4月1日～2022年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半期 純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	16,820	2,180	2,220	1,150	112.27
今回修正予想(B)	17,850	2,730	3,110	1,520	148.15
増減額(B-A)	1,030	550	890	370	
増減率(%)	6.1	25.2	40.1	32.2	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	15,075	2,150	2,171	1,113	108.50

2023年3月期通期連結業績予想数値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	34,920	4,900	4,960	2,720	265.51
今回修正予想(B)	38,220	6,010	6,460	3,470	338.21
増減額(B-A)	3,300	1,110	1,500	750	
増減率(%)	9.5	22.7	30.2	27.6	
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	33,119	4,806	4,998	2,795	272.45

修正の理由

当社グループの当第2四半期累計期間の連結売上高につきましては、分析機器事業において原材料価格の上昇等があったものの販売価格の改定により底堅く推移しました。また、半導体事業においては、半導体製造プロセスにおける消耗品の底堅い需要による高水準の受注継続、中国子会社の設備投資等を主とする増産対策効果などにより、前回発表予想を上回る見込みであります。

損益につきましても、特に半導体事業の増収等に伴い営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益ともに予想を上回る見込みであります。

また、通期業績につきましても、第2四半期累計期間の業績を踏まえて修正いたします。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (2022年5月10日発表)	—	0.00	—	45.00	45.00
今回修正予想	—	0.00	—	50.00	50.00
当期実績	—	0.00	—		
前期実績 (2022年3月期)	—	0.00	—	50.00	50.00

修正の理由

当社は、今後の事業拡大に向けた内部資金の確保と株主の皆様への長期にわたる安定的な配当を念頭に、財政状態、利益水準、配当性向などを総合的に勘案して利益配分を実施することとしており、急速な技術革新や競争力の維持・強化に対応した設備投資を行うとともに、長期的な観点に立って安定した配当を継続する方針です。

当期は、上記のとおり、売上高から当期純利益までの通期業績予想の上方修正を踏まえ、財政状態、利益水準や配当性向などを総合的に勘案いたしました結果、期末配当を当初予想に対して5円増配の1株当たり50円に修正することといたしました。

(注)上記予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の数値は、今後様々な要因により異なる可能性があります。

以 上